標小だより

令和２年１０月３０日発行　責任者　校長　野口育子
URL　http://town.shibecha.ed.jp/shibecha-e/htdocs

標小がめざす子ども像
○自ら学ぶ子（知）
○人のために行動できる子（徳）
○自他を尊重する子（徳）
○心身の健康安全に向け実践する子（体）

『ラストページまで　駆け抜けて』

校長　野　口　育　子

初霜が降り、街路樹の鮮やかな紅葉に秋の深まりを感じるようになりました。朝晩の冷え込みと日中の気温差も大きく、体調管理に留意したい今日この頃です。

さて、１０月２７日から１１月９日は、全国読書週間です。毎年、文化の日の前後に設定され、今年の読書週間の標語が『ラストページまで　駆け抜けて』です。読書週間は、戦後まもなく昭和２２年に「読書の力によって、平和な文化国家をつくろう」という趣旨のもとに始まったそうです。

読書の効用は様々なところで語られていますが、一番の効用は「読書の楽しみ」だと思います。本を読むことによって、楽しい時間を過ごすことができることが何よりも肝心です。

二つ目は、「自分の持っている言葉の数が増える」ということです。本の中には、子どもたちにとって難しい言葉や意味の分からない言葉もあるでしょう。でも、読んでいるうちに前後の関係から意味を想像できるようになったり、何度も接しているうちにその言葉が使えるようになったりしてきます。使える言葉が増えることは、考えたり、思ったりしたことを表現する幅が広がることにつながります。

さらに、読書によって「考える力」がつきます。読書で新しい知識を得たり、それを自分の生活に結び付けたり、自分の考えを整理することで考える力がついてくるのです。

いろいろな本に接し、知らない世界に触れたり、心を躍動させたりすることは子どもたちにとって貴重な体験です。また、本に親しむことを通じて豊かな知識を身に付け、それを活用して生涯にわたって主体的に生き抜く素地を形成できることが期待されます。

ただ、子どもたちの読書量の現状に目を向けると、個人差が大きいと感じます。学校では、今年度も学校図書館の充実を進めるとともに、週２回「朝読書」を行っています。黙々と本に読み浸っている子どもたちの姿が各教室で見られます。また、町立図書館の方や学校ボランティアの方による「読み聞かせ」や「お話会」も開催しています。子どもたちには、図書館を大いに活用し、書物を読むことに慣れ、「考える力」や「感じる力」、「表現する力」などを育んでほしいと願っています。

最近は『家読（うちどく）』の取り組みが注目され、本校でもご家庭に長期休業中などにご協力をお願いしているところです。子どもが読んでいる本を親や家族も読むことで共通の会話を増やし、家族のコミュニケーションを深めることがねらいだそうです。秋の夜長に、「家読」を通して、子どもも親も本に親しむ時間を共有し、本の世界の楽しさを味わえたらすばらしいことだと思います。

日	曜	11　月　行　事　予　定	バス時刻 1便	バス時刻 2便
1	日			
2	月		1450	1600
3	火	文化の日		
4	水	**通常時程**　ともしび号　小中連携①　ＳＣ来校	1450	1600
5	木	**水曜時程**　小中連携②	1450	
6	金	委員会（後期）　定時退勤日 ﾊﾟｰﾄﾅｰﾃｨｰﾁｬｰ白糠養護来校	1450	1600
7	土			
8	日			
9	月	縦割り遊び週間　巡回児童相談	1450	1600
10	火	全校朝会　おはなし会（１月）　ALT	1450	1600
11	水	**通常５時間**　学校教育指導計画訪問	1450	
12	木	おはなし会（２月）　放課後学習 ﾊﾟｰﾄﾅｰﾃｨｰﾁｬｰ釧路養護来校	1450	1600
13	金	おはなし会（３月）　クラブ（写真撮影）	1450	1600
14	土	（第 39 回標茶町少年の主張大会）※中学生のみ実施		
15	日			
16	月	体育館ひな壇設置（～26 日まで）	1450	1600
17	火	読み聞かせ（３雪）　６年防災学習　ALT	1450	1600
18	水	**水曜時程**　ともしび号　SC 来校	1450	
19	木	放課後学習	1450	1600
20	金	学校評価配布～12／2　委員会（後期）	1450	1600
21	土			
22	日			
23	月	勤労感謝の日		
24	火	児童朝会　学習発表会・学級懇談（１年）ALT	1450	1600
25	水	**水曜時程**　学習発表会・学級懇談（２年）	1450	
26	木	学習発表会・学級懇談（３年） 新中１体験入学説明会（標中） 放課後学習（４年以上）	1450	1600
27	金	学習発表会・学級懇談（４年）	1450	1600
28	土			
29	日			
30	月	学習発表会・学級懇談（５年）	1450	1600

学習発表会で１・３年がひな壇を使用することになり、１６日～２６日まで体育館ステージ前にひな壇が設置されます。

今月の様子

■５年生宿泊研修（７日・８日）

１日目は厚岸の水鳥観察館にて水生生物の採集や湿原に関する説明や観察などを行いました。昼前にネイパル厚岸に到着して昼食の後、焼き板クラフトに挑戦しました。初めて扱うガスバーナーに悪戦苦闘する子も見られましたが、上手に扱い、各自思い思いの作品を作っていました。食事は先生方で盛り付けし、学校の給食時のように全員前を向いて静かに食事しました。夜のナイトウォーク（きもだめし）では、係の子が脅かし役になり、場を盛り上げていました。２日目は、愛冠岬までのウォークラリーを実施。班ごとに協力して全員完歩することができました。

この２日間の経験を今後の学校生活や、来年の修学旅行に活かしていってほしいと思います。

■縦割り清掃開始（１２日）

行事や校外学習が錯綜する中、やっと縦割り清掃がスタートしました。全部で２２の縦割り班に分かれ、高学年が低学年に清掃の仕方を教えながら清掃しています。

■体力テストⅢ

体力テストの第３弾として、すべての学年でシャトルランが実施されました。精一杯がんばる姿が見られました。

新型コロナウイルス感染者に関する情報が釧路管内でも聞かれるようになってきました。

本校でも、コロナ対応として、「マスク着用」や「密の防止」等対策を講じております。しかし、ウイルスは目に見えないため、いつ何時、感染するかわかりません。感染者が発生した場合、その方々に対して、偏見や差別、誹謗中傷があってはなりません。右記のとおり、「思いやりのある行動」をお願いいたします。

『学習発表会・学級懇談会が行われます』

１０月２２日に配布されたお便りでもお知らせしておりますが、今年度、日常の学習の様子を見ていただく時間として、「学習発表会」を実施することとなりました。

新型コロナウイルス感染症対応を行いながら、短い時間ですが、子ども達の学習の成果をご覧いただければと考えております。合わせて、その後に学級懇談会も開催いたします。

実施日時と合わせて、参観いただく保護者の皆さまにはいくつかのお願いがありますので、掲載いたします。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【日時】〔1 学年〕１１月２４日（火）５時間目　〔2学年〕１１月２５日（水）５時間目
〔3学年〕１１月２６日（木）５時間目　〔4学年〕１１月２７日（金）５時間目
〔5 学年〕１１月３０日（月）５時間目　〔6学年〕１２月１日（火）５時間目
※水曜実施の日は、水曜日課で行われます。日課表で時間をご確認ください。
内容につきましては、配付された案内でご確認ください。

【参観にあたってのお願い】

1. 学習発表会の参観は、各ご家庭２名までとさせていただきます。場所は体育館となります。
2. 学級懇談会の出席は、各ご家庭１名とさせていただきます。場所は各学級教室となります。（６年月組は音楽室での実施となります。）
3. マスクの着用をお願いいたします。
4. 当日はご家庭で検温をしていただき、発熱や風邪のような諸症状がある場合は、来校をお控えください。
5. 受付を「児童玄関」に設けます。必ず、受付でお名前と健康状況をお伝えください。
6. お車でお越しの際は、**「役場」、「河畔テニスコート前」「トレーニングセンター」の駐車場**をご利用ください。
   ※保健所への駐車は、トラック等の出入りに支障が生ずるため、ご遠慮ください。
7. スリッパ（上履き）をご用意ください。
8. 懇談時、児童が学校で待つ場合は、図書室が待機場所となります。

■冬季に向けての連絡■

①１１月～２月の帰宅時刻は、午後４時となります。天気が悪いと日暮れも早くなります。遊びに行っても日没前には帰宅するよう声かけください。

②自転車使用は、４月～１０月いっぱいを一応の目安としております。気象状況を考慮して、ご家庭でお子様と話し合い判断するようお願いいたします。安全走行が可能な時期での自転車使用に、ご協力をお願いします。

③先日行われた体力テストの状況から、コロナ禍の影響もあり体力の低下がみられるとの報告がありました。朝晩、寒い日が続いていきますが、**今後も「徒歩登校」を継続し、日常的な体力づくりに努めさせていただくよう、**ご協力をお願いいたします。

【職員に関するお知らせ】

新型コロナウイルス感染症対策のための、学校における子どもの学習をサポートすることを目的として、学習指導員が配置されることとなりました。お名前は「[redacted]」さんです。主に１年生のサポートを中心として、週４日午前中のみ勤務する形になります。今年度のみの措置なので、約５か月と短い期間ですが、子ども達への支援がより充実することを期待しています。